

## 意見交換における本部委員の主な意見

### □新たな産業戦略指針「やまぐち産業イノベーション戦略」（素案）について 〔指針・成長分野〕

- ・成長分野が県の特性をふまえて整理されており、製造業中心とした絞込みも戦略的で効果が期待できる。
- ・素材メーカーは自動車のほか、医療、エネルギー、バイオ、I o T等の分野にも関連しており、重点成長分野としての位置づけは重要。

### 〔港湾整備関連〕

- ・国際バルクは効果が高い取組。次世代コンビナートでは、さらに競争力、収益力の強化に取り組んでいくが、国、県との連携や支援が重要。
- ・近年、環境規制の影響で、船舶燃料の重油からガスへの移行が拡大しつつある。ガス燃料の供給拠点となる港湾があると非常に魅力となるのではないかと。

### 〔自動車関連〕

- ・EV化の方向ばかりが報道されるが、環境問題も踏まえて、自動車産業の方向性や新技術等について、まず、県内企業と情報を共有することが重要。
- ・自動車は、単なる移動手段から快適な居住空間の提供へと変わってきており、市場も多様化している。素材メーカーも、自動車産業との連携は、今後、拡大すべき事業領域である。

### 〔産業用地活用関連〕

- ・事業所跡地や遊休地について、本プロジェクトを通じて、成長企業の誘致等に有効に活用されると良い。

### 〔地域中核企業関連〕

- ・カンファレンスチームにより、行政や関係機関が連携して、しっかりと企業支援に取り組んでいけると期待している。

### 〔産業人材関連〕

- ・産業人材の質をどう確保していくかが課題。学校のカリキュラム編成について、中小企業の声を反映できるような仕組みがあると良い。

### 〔その他〕

- ・移動通信システムが4Gから5Gに移行しようとしている。通信インフラの高度化は、ものづくり分野においても不可欠。